

令和6年度 金勝エリアにおける観光コンテンツのブラッシュアップと充実

1. 提案の趣旨

金勝山エリアにおける観光コンテンツの更なる充実を図るため、栗東市観光協会や民間企業、団体(旅行会社等民間企業、DMO等)などと連携を図る中で、既存の観光コンテンツに加え、本市の強みを中心としたここにしかない持続可能なコンテンツの造成を検討する。

2. 取り組みについて

【第二期栗東市観光振興ビジョン策定】

○事業目的

総合計画に掲げる本市の観光振興を推進し、地域の経済効果を最大化することを目的に策定する。計画期間5年。

○策定について

観光客ニーズ調査を実施(令和5年度)し、観光客の満足度やニーズ等、観光客の動向の現状を把握・整理した。

観光関係団体、観光関係行政機関、地域事業者等からなる栗東市観光振興会議にて観光客ニーズ調査、第一期栗東市観光振興ビジョンの計画期間中に実施された事業の実績等を踏まえ、第一期ビジョンの評価、その評価をもとに本市の強み、課題を再分析し、第二期ビジョンの基本方針について協議した(令和6年度4回実施)。

その中で、金勝エリアの拠点化・活用、高付加価値化を目指し、未来館など金勝山周辺の施設等を活用していくことを関係課と協議し第二期栗東市観光振興ビジョンに含めていく。

【市PR動画】

動画内で金勝山ハイキング、観音寺の棚田、金勝寺、こんぜの里、森林体験交流センター、スラックラインパーク、フォレストアドベンチャーを紹介。

3. 次年度以降の予定

観光振興ビジョンに基づき、未来館などの施設を周遊、滞在、レクリエーションの拠点の一つとして利活用を検討していく。

りっとう未来創造会議 提案シート

部局名	環境経済部		No.()
市長の所信の内容	金勝山エリアへの観光誘客 民間活力の導入によるハード、ソフト含む山の施設の再整備		
実現に向けて取り組む内容	<p>●金勝山エリアにおける観光コンテンツのブラッシュアップと充実</p> <p>・金勝山エリアにおける観光コンテンツの更なる充実を図るため、栗東市観光協会や民間企業、団体（旅行会社等民間企業、DMO等）などと連携を図る中で、既存の観光コンテンツに加え、本市の強みを中心とした“「ここにしかない」”唯一無二で持続可能なコンテンツの造成を検討する。</p> <p>（例：2025大阪万博等を見込んだインバウンドへのアプローチ、健康経営を掲げる企業等への需要開拓、産業観光との連携等）</p>		
課題	<p>・本市特有の地域資源を核とした持続可能な観光コンテンツとするための仕組みづくりと併せ、関連する関係団体等（観光協会、民間企業（旅行社、ホテル等宿泊施設等、観光地域づくり法人）との綿密な連携が必要である。</p>		
実現に向けたスケジュール、予算(計画)		スケジュール	予算(計画)
	R5年度	●観光コンテンツの企画検討（既存コンテンツの整理・現状把握、関係部署等との調整、観光ニーズ調査の実施	観光ニーズ調査 2,266千円（R5）
	R6年度	●観光振興ビジョンの更新、事業構築に向けた課題整理	観光振興ビジョン更新委託等事業費（委託費） 1,870千円（R6）
	R7年度	●事業展開に伴う予算要求 ●新たな振興ビジョンによる事業展開	事業費 （委託費・補助金）
	R8年度	●新たな観光コンテンツの事業展開	事業費 （委託費・補助金）
担当(関連)所属名	商工観光労政課、農林課、広報課		